


施設名	(やんたにさぼうえんていぐん) 嫌谷砂防堰堤群								
所在地	岐阜県 中津川市加子母								
管理者等	岐阜県								
施設種類・分野	砂防	堰							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>明治の日本にとって河川を治めることは、一つの重要な課題であった。御雇蘭人師のデ・レイケが、狭い地域社会を脱した流域全体における治水の対策を強く訴えてのは有名である。明治初期には、下流に溜まる山の砂が氾濫の原因となるため、一面の兀山となっていた日本の山々から砂が流出するのを留め、山の崩壊を抑えることが早くから手掛けられた。嫌谷に遺されている砂防堰堤は、その初期の事例の痕跡である。</p>		 <p>土木学会HPより引用</p>						
築造時期	明治中期	時期詳細	明治17年（1884年）(推定)						
関連人物	ヨハネス・デ・レイケ 1879(明治12)年と翌年に中津川から下呂へ抜けるこの一帯を視								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	選奨土木遺産(土木学会):嫌谷砂防堰堤群は「明治初期の巨石の空石積みによる砂防施設で、延長300mに渡り床固工、床止工とともにほぼ完全な形で現在にのこる貴重な土木遺産」であります。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	土木学会選奨土木遺産 http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/826								
管理者等のHP (URL等)	岐阜県HP(ぎふ歴史的土木構造物 vol4 木曾川周辺地域2) https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/horei/11650/rekishiteki-doboku-hidagawa.data/kisogawa2.pdf								